

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2021/12/06号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(注) 2021/09/12まではWTI原油価格連動型上場投信のデータ (出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

「オミクロン」の脅威で値下がり続く

NY原油先物相場は、1バレル=66ドル台前半まで続落している。前週に続いて新型コロナウイルスの変異株「オミクロン」に対する警戒感が強く、ファンドの売りが続いている。12月2日には一時62.43ドルまで値下がりし、8月23日以来の安値を更新している。12月2日の石油輸出国機構 (OPEC) プラスの閣僚級会合後は安値修正の動きが優勢も、前週比では1.89ドル安となっている。日々の値幅が極めて大きく、不安定な値動きが続いている。

OPECプラス会合では、12月は予定通りに日量40万バレルの増産を行い、1月も更に40万バレルの追加増産を行うことを決定した。1) 消費国が備蓄放出を決め、2) 「オミクロン」の影響で需要不安が高まり、3) 原油相場が急落しているため、マーケットでは来年の増産は一時停止されるとの見方が強かったが、米国など消費国との対立が過熱化することを回避する目的もあってか、緩やかな増産対応が継続されることになる。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (11月26日時点) は、原油が前週比91万バレル減、ガソリンが403万バレル増、石油精製品が216万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

下げ過ぎ感が強いが、「オミクロン」のリスク評価で不安定

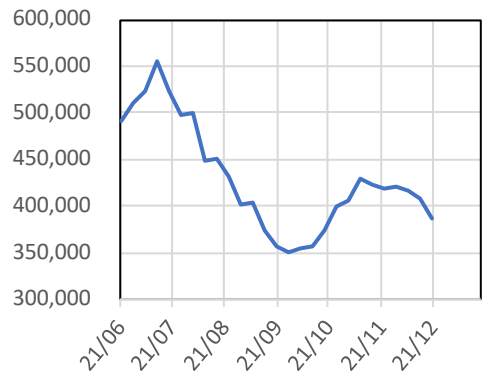
新型コロナウイルスの変異株「オミクロン」のリスク評価に揺れ動く展開が続くことになる。まだワクチンや治療薬の有効性については分からないことも多い一方、米国を含む世界各地で「オミクロン」の感染者が報告されており、先行き不透明感は強い。ヘッドラインに一喜一憂する高ボラティリティ環境が続く見通し。8月23日安値61.74ドルでサポートされるかが焦点になる。一方で、OPECプラス会合後は下げ一服感もみられ、売られ過ぎ解消の動きが強まると、一気に切り返しを見せる可能性も高まっている。基本評価は、オーバーシュート感の強い安値が形成されている状態にあり、イベント通過でやや安値修正期待が高まり易くなる。200日移動平均線（69.89ドル）を上抜くと、底入れ感が強まろう。

OPECプラス会合では1月も増産を継続する方針が示された。ただ、パンデミックの状況によっては、「必要とあれば直ちに（政策）調整を行う」と今後の政策調整に含みを持たせていることが、マーケットでは好感されている。OPECプラスが需給管理に対して責任を持つとの信頼感が高まると、原油相場の値下がり傾向にブレーキが掛かり易くなる。

一方、「オミクロン」による需要環境の悪化、OPECプラスの断続的な増産、消費国の備蓄放出、更には米国の早期利上げ観測などの織り込みがみられると、下値模索の展開が維持されることになる。

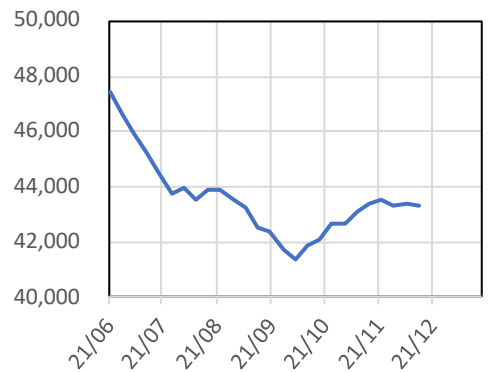
ただ、複数の大手金融機関からは、急激な値下がりではシェールオイルの増産計画に見直しの動きがみられること、OPECプラスの追加的増産能力の縮小などから、現行価格は「オミクロン」に対して過剰に反応した安値であり、原油高環境は続くとの強気の報告も行われている。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



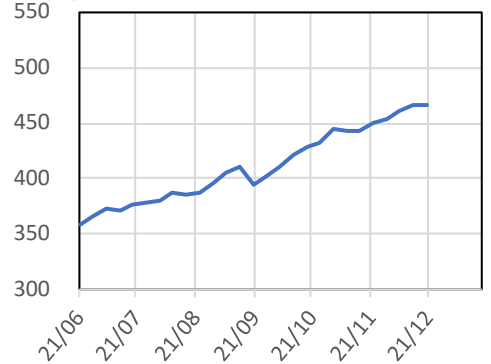
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <http://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

